

プロロジス、オイシックス・ラ・大地と賃貸契約を締結し、 BTS 型冷蔵倉庫「プロロジスパーク海老名 2」の開発を決定

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:山田 御酒)は、安全に配慮した食品の宅配サービス事業を手掛けるオイシックス・ラ・大地株式会社(本社:東京都品川区大崎、代表取締役社長:高島 宏平)と約 34,000 m²の賃貸借契約を締結し、神奈川県海老名市において BTS 型(特定企業専用)物流施設「プロロジスパーク海老名 2」の開発に着手することを発表しました。同施設は 10℃帯の冷蔵倉庫として開発されます。



「プロロジスパーク海老名 2」完成イメージ

オイシックス・ラ・大地は、事業拡大に伴い「プロロジスパーク海老名 2」の利用を決定しました。全国の契約農家約 4,000 軒から入荷した野菜や、生鮮食品を「プロロジスパーク海老名 2」に集約し、地域別の出荷準備のための拠点とします。オイシックス・ラ・大地との賃貸借契約は今回が初めてです。

一般的に、冷凍・冷蔵倉庫は、自社所有倉庫での開発が主流であり、物流施設デベロッパーが手掛ける例は多くありません。物流施設開発会社が賃貸型の施設で冷蔵ニーズに対応する場合、汎用性を重視し、ドライ倉庫をベースとして開発し冷蔵設備を導入するため、入居企業にとってはコストや工期の増加につながる課題があります。

プロロジスは、冷凍・冷蔵倉庫においても物流施設開発会社として国内最多*の実績(マルチテナント型施設での冷蔵・冷凍ニーズへの対応および BTS 型施設での開発の総計)を有しています。今回の開発においては、ドライ倉庫をベースに冷蔵仕様に変更するのではなく、プロロジスが当初から冷蔵倉庫として開発することで、入居カスタマーの負担を軽減します。プロロジスは、コールドチェーンへの需要が今後高まるとみており、引き続きカスタマーの多様なニーズに応えていく予定です。

*2018年6月 CBRE 調べ「BZ 空間」マルチテナント型・BTS 型を含む実績

■ 「プロロジスパーク海老名 2」 立地

「プロロジスパーク海老名 2」の開発予定地は、「圏央厚木 IC」よりわずか 1.9km、「海老名 IC」からも約 3.3km と至近に位置し、2020 年度上半期には、約 6km の地点に東名高速道路「(仮称)綾瀬スマート IC」が開通予定です。圏央道と東名高速道路との交差点にあたるため、関東全域および西日本方面や都心部へアクセスしやすい位置になります。

当地より約 200m の地点を走る国道 246 号も利用しやすく、藤沢、鎌倉、横浜市中心部、首都圏西部など、首都圏主要消費地をカバーできる拠点として需要が高い好適地です。

また、小田急線「海老名駅」からも約 2km と近く、周辺には住宅地が広がっているため施設内従業員の雇用確保にも有利です。

■ 計画概要：10℃帯の冷蔵倉庫

「プロロジスパーク海老名 2」は、オイシックス・ラ・大地の BTS 型物流施設として、2020 年 4 月に着工予定です。4 階建て、10℃帯の冷蔵倉庫として開発し、一部にドライ倉庫を設ける予定です。2 階部分に大型車両がアクセス可能なスロープを設け、1・2 階を合わせて約 40 台分のトラックバースを整備します。

「プロロジスパーク海老名 2」施設概要

名 称	プロロジスパーク海老名 2
開 発 地	神奈川県海老名市下今泉
敷 地 面 積	約 17,000 m ²
計 画 延 床 面 積	約 38,000 m ²
構 造	地上 4 階建て、RC 造(一部 S 造)
着 工 予 定	2020 年 4 月
竣 工 予 定	2021 年 8 月

■ プロロジスの BTS 型(特定企業専用)物流施設

プロロジスは、これまでに全国に 42 棟*の BTS 型物流施設を開発してきました。現在は「プロロジスパーク神戸 3」の BTS 型物流施設を計画中であり、入居企業を募集しています。

*竣工済みおよび着工済み件数

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do